

テレワーク導入支援セミナー in四国 中小企業におけるテレワークの導入と効果



R5年11月22日
株式会社エコー建設コンサルタント
齋藤博紀

目次

- 会社の紹介
- 地方中小企業ならではの導入の背景・目的
- テレワークの仕組み
- テレワークの運用
- テレワークにおける工夫点
 - ①設計基準書等の書籍の電子化
 - ②コミュニケーション不足への対策、費用面での対策
 - ③テレワークの見える化
- テレワーク導入の効果
- 課題と解決に向けた具体的な取組み
- テレワークの将来展望と方向性

会社の紹介① 会社概要

会社名	株式会社 エコー建設コンサルタント
代表者	代表取締役 齋藤 恒範
創業	1968年9月 創立55年
所在地	徳島本社(徳島市南末広町4-53)
主な取引先	国土交通省、徳島県、徳島市 阿南市、石井町、神山町他県内各市町村、その他民間会社
従業員	82名(2023年11月現在)
売上高	10億7000万円(2023年1月期)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・地質調査業・一級建築士事務所

会社の紹介② 徳島県内有数のインフラ設計



徳島市 新町橋
令和4年度徳島県優良業務表彰



徳島市 福島橋



徳島の交通の要 国道11号線



阿南市 楠根トンネル



上勝町 いろどり橋



三好市 下瀬2号トンネル



ゆめタウン徳島進入路



阿南市 会下橋
PC工学会作品賞



阿南市 阿南駅前公園



地方中小企業ならではの導入の背景・目的

①社員の健康維持とワークライフバランスの向上

- 地方都市特有の長時間マイカー通勤の削減
- 時間に捉われない働き方のため、子育てや家事などの時間確保に繋がる

②会社の存続→事業持続性(BCP)の確保

- 南海トラフ地震襲来等大災害による影響を受けにくい組織の構築

③新型コロナウイルス対策

- 新型コロナ感染社員、濃厚接触社員の在宅での事業継続の確保(社員間の接触削減)

④脱炭素社会の構築

- 出社時の自動車通勤を伴わないため、CO²排出削減効果が期待できる

上記の課題を受けて、2020年12月より
テレワークを本格的に導入



テレワークの仕組み

① 自宅PCから職場PCに接続するリモートデスクトップ方式を採用

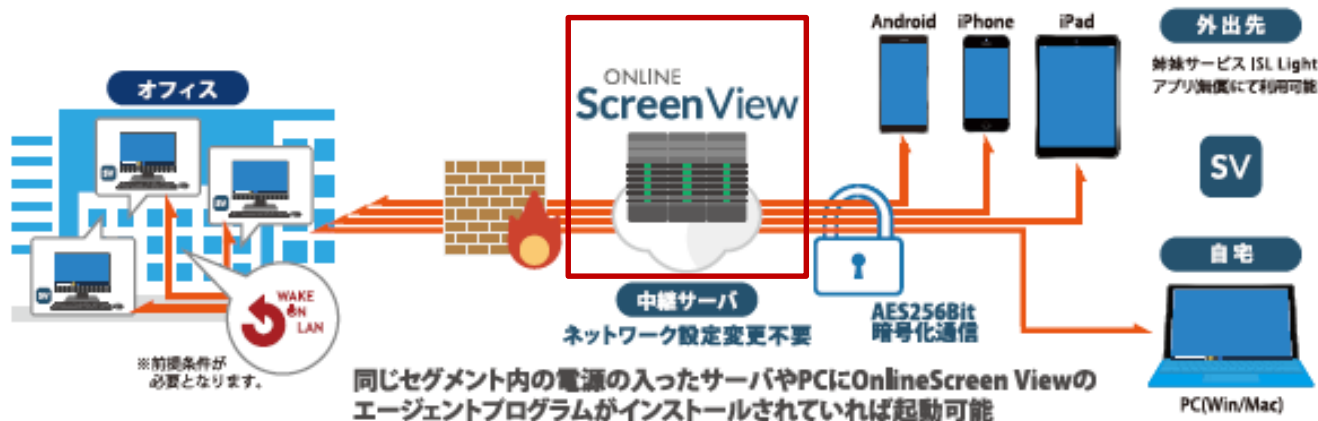


自宅におけるテレワーク状況
(PC、ディスプレイ)



職場のPC

② オンラインスクリーンビューにより、セキュリティ対策を強化



テレワークの運用① テレワークの形態



在宅勤務

自宅を仕事場として勤務する働き方。通勤時間がゼロになることで育児や介護との両立が可能。



モバイルワーク

外出先や移動中にICTを利用して業務を行う。リアルタイムでの情報共有、時間を有効活用できる。



サテライトオフィス

レンタルスペース等で勤務を行う。設備が充実しているため、本社勤務と同等の業務ができる。

当社のテレワークの形態は、在宅勤務にて行うものとしている。

テレワークの運用② 対象者について

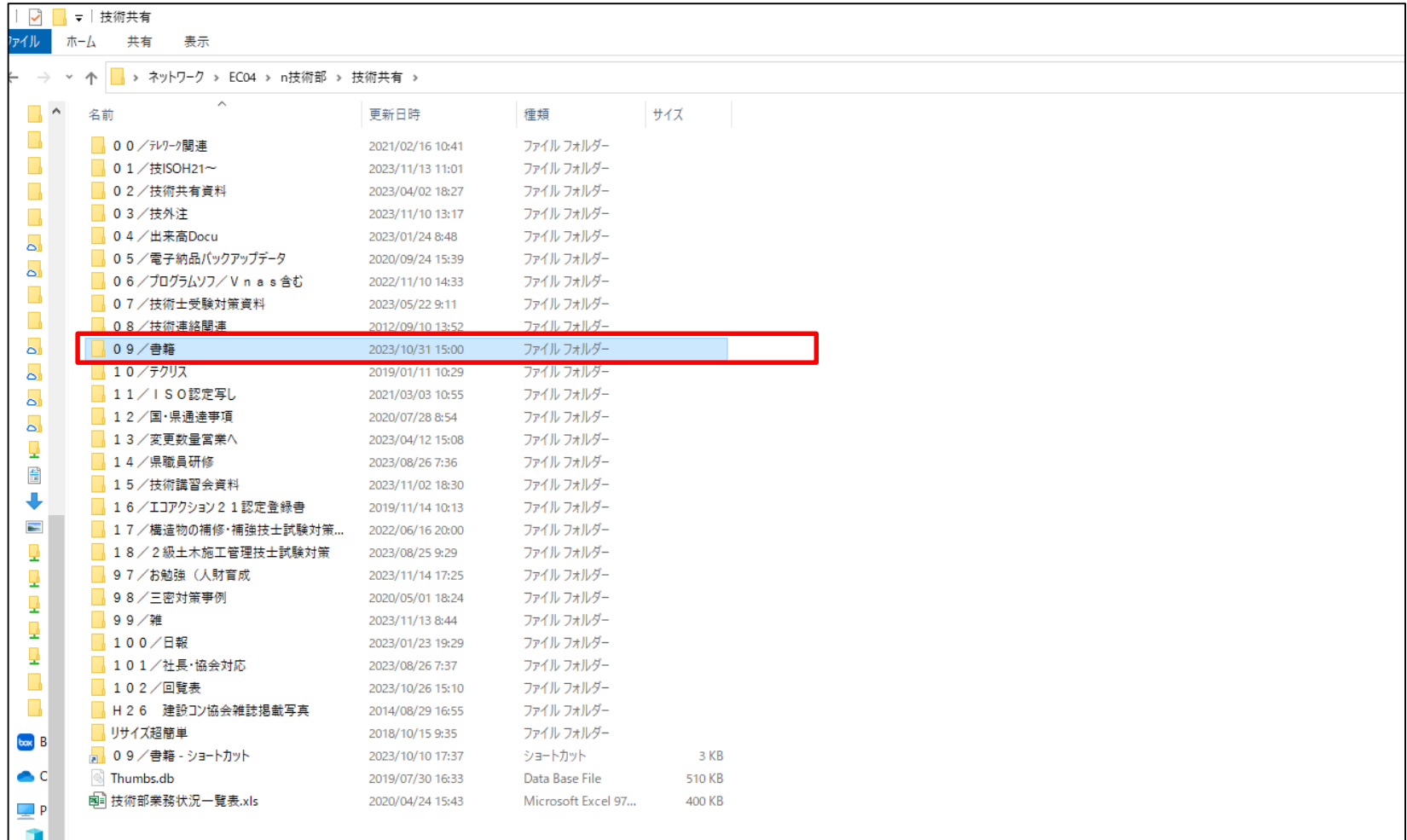
部門別	対象層	対象or対象外	対象勤続年数
社長、役員		対象外	
総務部、営業部		対象外	
調査部		対象	入社2年目以降の社員
技術部		対象	入社2年目以降の社員
技術監理部		対象	入社2年目以降の社員

テレワークの運用③ 勤務時間、実施頻度

勤務時間	原則通常勤務同様、1日8時間とする。 (8:30始業～17:30終業、12:00～13:00昼休み休憩)
実施頻度	原則として、毎週必ず1回以上実施を目標
実施日	各自自由に定められる
勤務禁止時間 ※原則	時間外勤務、深夜勤務(22:00～5:00)
労働時間の扱い	テレワーク勤務で働いた時間は、通常勤務と同等とみなし、労働時間とする。 ただし、休日には原則テレワークは実施しない。

工夫点① 設計基準書等の書籍の電子化

・建設コンサルタント業では、設計基準書等の書籍を参照しながら設計業務を行う。そのため、在宅勤務でも業務に必要な書籍を自由に閲覧できるように、書籍の電子データをクラウドサーバに保存している。



名前	更新日時	種類	サイズ
00 / ネットワーク関連	2021/02/16 10:41	ファイル フォルダ	
01 / 技ISOH21~	2023/11/13 11:01	ファイル フォルダ	
02 / 技術共有資料	2023/04/02 18:27	ファイル フォルダ	
03 / 技外注	2023/11/10 13:17	ファイル フォルダ	
04 / 出来高Docu	2023/01/24 8:48	ファイル フォルダ	
05 / 電子納品バックアップデータ	2020/09/24 15:39	ファイル フォルダ	
06 / プログラムソフト / V n e s 含む	2022/11/10 14:33	ファイル フォルダ	
07 / 技術士受験対策資料	2023/05/22 9:11	ファイル フォルダ	
08 / 技術連絡関連	2012/09/10 13:52	ファイル フォルダ	
09 / 書籍	2023/10/31 15:00	ファイル フォルダ	
10 / テクリス	2019/01/11 10:29	ファイル フォルダ	
11 / I S O 認定写し	2021/03/03 10:55	ファイル フォルダ	
12 / 国・県関連事項	2020/07/28 8:54	ファイル フォルダ	
13 / 変更数量営業ハ	2023/04/12 15:08	ファイル フォルダ	
14 / 県職員研修	2023/08/26 7:36	ファイル フォルダ	
15 / 技術講習会資料	2023/11/02 18:30	ファイル フォルダ	
16 / エコアクション 2 1 認定登録書	2019/11/14 10:13	ファイル フォルダ	
17 / 構造物の補修・補強技術士試験対策...	2022/06/16 20:00	ファイル フォルダ	
18 / 2 級土木施工管理技術士試験対策	2023/08/25 9:29	ファイル フォルダ	
97 / お勉強 (人財育成	2023/11/14 17:25	ファイル フォルダ	
98 / 三密対策事例	2020/05/01 18:24	ファイル フォルダ	
99 / 雑	2023/11/13 8:44	ファイル フォルダ	
100 / 日報	2023/01/23 19:29	ファイル フォルダ	
101 / 社長・協会対応	2023/08/26 7:37	ファイル フォルダ	
102 / 回覧表	2023/10/26 15:10	ファイル フォルダ	
H 2 6 建設コン協会雑誌掲載写真	2014/08/29 16:55	ファイル フォルダ	
リサイズ超簡単	2018/10/15 9:35	ファイル フォルダ	
09 / 書籍 - ショートカット	2023/10/10 17:37	ショートカット	3 KB
Thumbs.db	2019/07/30 16:33	Data Base File	510 KB
技術部業務状況一覧表.xls	2020/04/24 15:43	Microsoft Excel 97...	400 KB

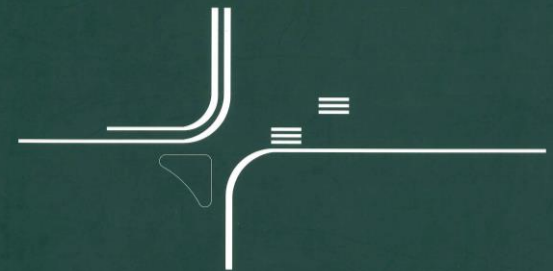


名前	更新日時	種類	サイズ
G-0010 土木構造物設計ガイドライン土木構造物設計マニュアル(案) 土木構造物・橋梁土木構造物設計マニュアル...	2022/12/22 9:46	ファイル フォルダー	
G-0218 道路標識設置要領	2022/09/19 15:32	ファイル フォルダー	
G-0310 道路設計要領(H26.3)	2019/06/25 11:16	ファイル フォルダー	
H-0121 SEEEグラウンドアンカー工法(タイプランカー-A型、U型、M型) 設計・施工マニュアル	2021/06/03 16:12	ファイル フォルダー	
H-0289 道路構造令	2023/06/21 9:52	ファイル フォルダー	
H-0314 舗装設計施工指針 (平成18年度)	2023/06/09 14:13	ファイル フォルダー	
H-0315 舗装施工便覧 (平成十八年版)	2021/08/23 13:48	ファイル フォルダー	
H-0317 平面交差の計画と設計 基礎編 計画・設計・交通信号の制御の手引き H30.11	2023/04/13 8:38	ファイル フォルダー	
H-0388 舗装設計便覧	2020/10/12 16:51	ファイル フォルダー	
H-0637-0639 樹脂系滑り止め塗装要領書	2023/08/03 16:04	ファイル フォルダー	
I-0017 土木工事数量算出要領	2023/10/20 10:25	ファイル フォルダー	
他道路協会	2023/08/01 14:26	ファイル フォルダー	
道路橋示方書1式	2023/09/08 16:45	ファイル フォルダー	
道路土工指針1式	2023/11/10 11:17	ファイル フォルダー	
C-0039 徳島県農林土木設計業務共通仕様書(H23.5).pdf	2011/11/16 8:35		
C-0039 徳島県農林土木測量業務共通仕様書(H23.5).pdf	2011/11/16 8:36		
C-0039 徳島県農林土木地質及び土質調査業務共通仕様書(H23.5).pdf	2011/11/16 8:36		
D-0005 '16 デザインデータブック(H28.5).xbd	2019/07/12 14:28		
D-0010 わかりやすい交通バリアフリー法の解説.pdf	2020/09/24 13:04		
F-0026 (H26.11)道路計画の知恵袋 9 9 .xdw	2016/09/05 16:49		
G-0250 費用便益分析マニュアル(R04.02).pdf	2022/08/08 9:39		
G-0267 LED照明道路・トンネル導入ガイドライン(H27.03).xdw	2018/10/05 17:23		
G-0286 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインH28年版.pdf	2023/07/21 11:25		
H-0082 土木構造物設計マニュアル(案)H11.11.xbd	2018/09/04 11:09		
H-0114 補強土 (テールアルム) 壁工法 設計施工マニュアル-第4 回改訂版-.pdf	2021/08/05 8:50		
H-0115 のり枠工の設計・施工指針 平成25年10月 .xdw	2018/06/12 17:23		
H-0150 鋼管矢板基礎設計施工便覧.pdf	2023/05/17 12:50		
H-0151 深層混合処理工法設計・施工マニュアル 改訂版 平成16年3月 土木研究センター-.xdw	2018/09/26 15:32		
H-0167 H25版正誤表.pdf	2016/10/06 7:08		
H-0222 道路震災対策便覧(災害復旧編)令和4年度改訂版.pdf	2023/05/17 12:51		
H-0242 (H24.01)路面標示設置マニュアル.xbd	2022/02/10 14:27		
H-0256 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(H24.5).xbd	2013/04/23 10:45		
H-0407 林道規程 - 運用と解説(H23.08) -.xdw	2017/09/28 9:28		
H-0414 平面交差の計画と設計 - 応用編 -.pdf	2023/04/13 12:58		
H-0418 交通調査業務の手引.pdf	2023/04/13 10:13		
H-0422 F C B / H19.1.xbd	2011/12/09 10:01		
H-0423 新版フリーフレーム工法.xdw	2012/02/14 14:43		
H-0434 鉄筋挿入工効率的設計の手引き (案) .xdw	2023/08/03 9:33		
H-0463 (H17.5)交通事故対策 評価マニュアルおよび交通事故対策事例集.xdw	2011/07/26 15:26		
H-0470 地山補強土工法 設計・施工マニュアル.xbd	2013/04/18 10:34		
H-0646 アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧.pdf	2023/05/16 14:28		

平面交差の計画と設計

— 応用編 —

2007



①コミュニケーション不足への対策

- 在宅勤務ではコミュニケーションは希薄になりがちである。テレワーク対象者全員にスマートフォンを支給し、作業の進捗や問題点などをいつでも確認できるようにしている
- 毎朝あるいは必要の都度、課内ウェブミーティングを実施

②テレワークに掛かる費用面での対策

- テレワークに必要な在宅用PC、ディスプレイ、スマートフォンなどの機材は会社から貸与
- 通信費、その他雑費(事務用品、消耗品)については会社負担としている



工夫点③ テレワークの見える化

在宅勤務では、社員が本当に仕事をしているか、またどこまで仕事が進捗しているか本人しか分からない。

- ①テレワーク実施記録にて作業内容や作業分量を記載
- ②実施前と実施後に上司の承認を得ることを義務付けている

テレワーク実施記録 (令和5年10月) 調査部 調査課 氏名 []

日	曜日	作業内容	作業分量		事前 作業内容、予定分量 の確認		事後 作業実績の承認		摘要
			予定	実績	課長	日時	課長	日時	
16	月	35098 古野川水文 水文DBデータ作成 農政局提供データ (R4.10/1~R5.9/30)	水位:4ヶ所 地下水:9ヶ所	水位:4ヶ所 地下水:9ヶ所	[印]	10/13	[印]	10/17	
17	火								
18	水	35098 那賀川水文 水文DBデータ作成 (水位テレ) 35098 古野川水文 水文DBデータ作成 (水位テレ)	9-10月×7ヶ所 9-10月×22ヶ所	9-10月×7ヶ所 9-10月×22ヶ所	[印]	10/17	[印]	10/19	
19	木								
20	金								
21	土								
連絡事項等					確認 部門長		確認 社長		確認 総務
					[印]		[印]		[印]

(注意事項) 1. テレワーク可能な作業内容を決定し、テレワーク開始前に上長(課長・課長代理)に「作業内容及び作業予定分量」の確認を得てテレワークを開始する。
 テレワーク終了後に、その日実施した作業実績を上長に報告し承諾を得ること。
 上長は、捺印とその(確認・承認)日時を記入すること。
 2. 原則通常勤務と同じ1日8時間(8:30~17:30)労働を標準とし、時間外労働は実施しないものとする。
 3. 毎月曜日、毎月21日(提出日が休日の場合は翌日)の午前中までに部門長に必ず提出し、確認を得ること。
 その後、社長、総務課の確認を得ること。



導入の効果①

①自動車通勤の減少⇒CO²排出削減

- 在宅勤務のため、通常入社時の自動車通勤を伴わない。CO²排出削減効果が得られた。

社員A(月4回テレワーク実施、平均通勤距離=30km)

⇒年間ガソリン使用量=30×4×12ヶ月/13(km/l)=111ℓ⇒▲0.25t CO²削減効果

②コスト削減

- 社員の時間外労働が減少した。その結果、残業支給総額の削減となった。(導入後R3年では、導入前のR2年と比較して約8%削減)

③業務の効率・生産性向上

- 在宅勤務では、社外からの電話対応や来客対応など仕事の中断が無く、集中力が高まり、仕事のはかどる。(社員のプライベートの時間確保)

④新型コロナウイルスへの対応

- 社員がコロナウイルスに感染し、濃厚接触者と認定された他社員は自宅待機を余儀なくされた。しかし、テレワークにより自宅待機中も業務を遂行することができた。



導入の効果② 社員のエンゲージメントの向上

テレワーク対象社員にアンケート調査を実施したところ、「今後ともテレワークを続けていきたい」と回答した社員が9割を超えた。(30人/32人)

テレワークアンケート (R3.11実施)

テレワークを開始してから1年経ちました。現状のテレワークの状況の把握と今後のテレワークの進め方の参考にしたいので、下記のアンケートにご協力をお願いします。
該当する項目をクリック(チェック)をお願いします。

年齢	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女				
所属部	<input type="checkbox"/> 技術部 <input type="checkbox"/> 調査部 <input type="checkbox"/> 技術管理部				

1. テレワークに関して

Q1 昨年(R2年12月)以降、テレワークを実施した回数はどのくらいですか？
(ただし、ここで言うテレワークとは、通常勤務日におけるものとします。)

<input type="checkbox"/> 0回	<input type="checkbox"/> 1~5回	<input type="checkbox"/> 5~10回	<input type="checkbox"/> 10~20回	<input type="checkbox"/> 20~30回	<input type="checkbox"/> 30回以上
-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

Q2 通常勤務日以外にて、テレワークを活用していますか？
(休日等で、テレワーク申請をせずに自主的に行っているもの)

<input type="checkbox"/> 活用している	<input type="checkbox"/> 活用していない
---------------------------------	----------------------------------

Q3 テレワーク時のモニターについて

<input type="checkbox"/> 2台が望ましい	<input type="checkbox"/> 1台でも問題ない
----------------------------------	-----------------------------------

Q4 自宅にwi-fi環境はありますか？

<input type="checkbox"/> 有る	<input type="checkbox"/> 無い
-----------------------------	-----------------------------

Q5 今後テレワークを続けていきたいですか？

<input type="checkbox"/> 続けていきたい	<input type="checkbox"/> 続けるつもりはない(必要性が無い)
----------------------------------	--

2. 業務用スマートフォンについて

Q1 現在スマートフォンを業務にて活用していますか？

<input type="checkbox"/> 活用している	<input type="checkbox"/> 活用していない
---------------------------------	----------------------------------

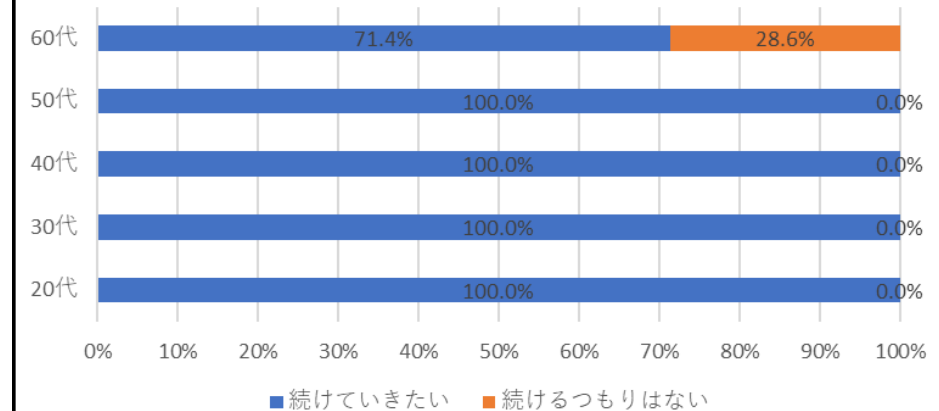
⇒上記の質問で「活用している」と回答した方にお聞きします。
具体的にどのような用途で活用していますか？

<input type="checkbox"/> テレワーク及び業者や発注者との連絡
<input type="checkbox"/> テレワークのみ
<input type="checkbox"/> 業者や発注者との連絡のみ
<input type="checkbox"/> 上記以外

3. その他

上記の質問以外でテレワークに関する要望や意見を自由に記述してください。

今後のテレワークについて



★その他意見

・通勤時間が長時間(片道1時間以上)の社員からは、通勤のストレスが軽減され、作業効率の向上が期待できる。

・通勤時間や時間外労働を伴わないため、プライベートの時間が増える。子育てや家事などの時間確保につながる。



導入の効果③ 地域産業の活性化

徳島県主催のテレワーク導入モデル事業に参画(R2.11~R3.3)

当社のテレワーク実践事例を参考事例として県内企業へ配布し、テレワーク導入促進に貢献している。

テレワークの拡大・定着の課題を明確に、
多様な働き方を実現

株式会社 エコー建設コンサルタント



社内テレワーク推進チームのメンバー構成

役員、人事、システム、生産部門の代表者

会社概要

業 種 : 建設コンサルタント業
所 在 地 : 徳島県徳島市
従業員数 : 68名
事業内容 : 道路、橋梁、トンネルなどの社会インフラの設計/地域の自然を活かした街づくり、調査、点検、測量
WEBサイト : <http://echocc.co.jp/>

社会に求められる仕事を実現

テレワーク「制度あり」から「定着」へ

テレワーク要綱も作成済みで貸与するPC等の調達はできており、社内にテレワークを推進しているにも関わらず実施者が増えていないのが課題であった。

今回のプロジェクトを通じて「定着させる」ことを目標に社員の理解を促すとともに、テレワーク集中実施期間を設け新たな課題の抽出と成功体験の共有を進めている。

導入の目的

- ✓ 集中できる環境提供による効率化、残業時間削減
- ✓ BCP対策、人材採用、離職防止
- ✓ 環境負荷の軽減(カーボンゼロミッション)

モデル実証でのゴール

- ✓ 対象者全員がトライアルを実施
- ✓ テレワーク定着のための課題が抽出できている状態

取り組み内容(3ヶ月間)

- ✓ テレワークの導入目的や制度・ルールを社員に周知しやすいようテレワーク規定ガイドラインを作成
- ✓ できる限りテレワークを実施してもらうようテレワーク集中実施期間を設定
- ✓ テレワーク定着のための課題抽出方法を検討・構築
- ✓ 実施後のアンケートによって定着課題を共有



解決のポイント

「アンケートによる定着のための課題を抽出」

テレワークセンター徳島が見たキーポイント トライアル実施と課題の可視化で定着に向けたPDCAを推進

社員がテレワークできるための環境や制度をいち早く整えていた同社。しかしながらその意に反して実際はテレワークを行う社員が増えず、また原因がどこにあるのかわからないことも課題でした。

そこで定着に向けての施策としてトライアル&エラーを実施しました。このことによる効果の狙いは主に2つ。「1.実施に向けての周知」と「2.実施後の課題の可視化」です。テレワークも「仕事のスキル」なので、慣れることでやりにくさは解消し、またやて初めて課題が明確になっていくものです。

まずはできる限り社員がテレワークを行う「集中実施期間」を設定し、実施するための準備として目的ややり方を明確にした「テレワーク規程ガイドライン」をまとめ社員へ周知しました。集中実施期間後にはアンケートを行い、定着のための課題を抽出。この際にテレワークを実施していない社員からも任意でアンケートを回収し、全社的にみた課題の抽出を図ったこともポイント。今後はトライアル、アンケート、課題の抽出をPDCAサイクルとして反復していくことで定着するテレワークの定着が期待できます。

また、同社のように業務の遂行に経験値が必要とされる場合は、工数設定や個人のスキルレベルを管理することでスムーズに進める方法もあります。興味のある方はぜひお問い合わせください。

具体的な事例:社員への周知のためのガイドライン作成



トライアル検証項目(例) トライアル対象者に実証中・後にアンケートやインタビューを実施

検証項目(効果)	指標	目標
テレワーク導入目的	はたらきやすさ	テレワークの導入状況
業務	業務効率の向上	アンケートと実証者インタビューを通じて課題を洗い出し、改善策を抽出
コミュニケーション	各コミュニケーション手段の有効性	実証中に課題を洗い出し、改善策を抽出
制度・ルール	新制度・運用ルールの実用性	実証中に課題を洗い出し、改善策を抽出
セキュリティ	利便性・安全性のバランス	実証中に課題を洗い出し、改善策を抽出
IT環境	ICT環境の有効性	実証中に課題を洗い出し、改善策を抽出
マネジメント	労務管理手段の有効性	実証中に課題を洗い出し、改善策を抽出
その他	—	テレワーク導入一応用に向けた課題抽出

PDCAサイクル 一度きりにせず、定期的な効果検証を



今後の方向性

アンケートによって抽出された課題に対して対策を検討するとともに、BCP対策として避難訓練のように定期的にテレワーク集中実施期間を設け、定着につなげる。

モデル企業の声



アンケート結果からテレワーク定着に向けての具体的な課題が見えてきました。また、今後テレワークを活用してみたいと回答した方が想像以上に多かったため、テレワーク集中実施期間を設けるに良かったと思っています。やる前は不安ばかりが湧くと思いますが、まずはやってみることが肝心だと思います。



導入の効果④ テレワークに関する表彰

当社の取組みが評価され、テレワークに関する様々な表彰を受賞することができました

R4年度総務省 テレワーク先駆者100選

テレワーク先駆者百選・総務大臣賞 施策概要

別紙5

- テレワークの導入・活用について、取組を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」、十分な利用実績等が認められる団体等を「**テレワーク先駆者百選**」として選定・公表。
- 「テレワーク先駆者百選」のうち、特に優れた取組には**総務大臣賞**を授与し、厚労大臣賞（輝くテレワーク賞）と合同の表彰式を実施。

<参考：近年の総務大臣賞>

令和3年度：愛和税理士法人、(株)エグゼクティブ、(株)三技協、(株)ニット、日本航空(株)、ネットリンクス(株)
令和2年度：江崎グリコ株式会社、株式会社キャスト、チューリッヒ保険会社、富士通株式会社、八尾トヨー住器株式会社
令和元年度：アフラック生命保険(株)、シックス・アパート(株)、明豊ファンリテイクス(株)、リコージャパン(株)

令和4年度募集期間 8月25日(木)~9月30日(金)

特に優れた取組である

経営面での成果、ICTの活用、地方創生の取組等を総合的に判断

十分な利用実績がある

対象従業員が全従業員の常時25%以上(小規模事業者※は50%以上)、対象従業員の50%以上又は100人以上が実施、実施者全体の平均実施日数が月平均4日以上、テレワークにおける長時間労働防止対策がある



百選以上にロゴを付与

テレワーク先駆者

テレワークによる勤務制度が整っている企業等

過去1年での労働関係法令等の重大な違反がない
テレワークが就業規則の本則もしくは個別の規程等に定められ、実際に行っている

近年の「テレワーク先駆者百選」選定企業・団体数：平成30年度 36団体/ 令和元年度 32団体/ 令和2年度 60団体/ 令和3年度 124団体

※ 小規模事業者は中小企業基本法の定義による (<http://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html>)

徳島県テレワークはぐくみ支援企業表彰

テレワークを活用した仕事と家庭の両立・充実を応援する職場環境づくりへ

当社では、テレワークによる在宅勤務を導入しています。近年、仕事と育児を両立している社員、高齢者の介護をしている社員の割合が高まっています。テレワークの活用により、通勤時間や時間外労働を削減できます。その結果、業務終了後に家族との余暇や高齢者の介護に十分な時間を割くことができます。

社内アンケートの結果、「テレワークを続けていきたい」と回答した社員が90%以上にのぼります。社員一人ひとりが安心して長く働ける環境に少しずつ近づいています。

このたび、当社のテレワークを活用した社員の子育て支援に対する取組みが評価され、令和4年度はぐくみ支援企業に認定され、徳島県より表彰を受けました。今後も、社員一人ひとりが満足し、生産性向上につながる職場環境を目指してまいります。



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



13 気候変動に具体的な対策を



課題

社内アンケートを実施し、アンケートで得られたテレワーク時の課題を把握している。
アンケートで出た課題を以下に示す。

①通信環境

- リモートデスクトップ方式のため、タイムラグが生じる。
- 写真整理をする際に、写真の解像度が低くなり、作業効率が低下する。

②作業環境

- エクセルやCADなど複数のソフトを使いながら書籍を見る場合、ディスプレイ1枚では足りない。
- ディスプレイ1台だと、画面が小さく作業効率が落ちる。
- 設計書、図面のチェックなどは、ディスプレイ1台では難しい。

③運用方法

- 運用要綱では1日単位(8:30~17:30)のテレワークと規定している。
台風や大雪などの予期せぬ悪天候によって急遽出社が困難となった場合、午後から急遽自宅で待機せざるを得ない場合には対応できない。
⇒柔軟にテレワークできるような運用改正が必要



課題解決に向けた具体的な取組み

アンケートで得られた課題を分析し、以下の取組みによりテレワークの改善をしている。

①通信環境の改善

- 通信速度を測定したところ、問題は無いことを確認。
今後は、別の方式(リモートデスクトップ方式以外)でのテレワークを検討中

②ディスプレイ1台の付与

- アンケート調査で「ディスプレイ2台が望ましい」と回答した社員に対して、ディスプレイ1台を追加で付与し、作業効率向上を図った。
(モニター追加希望社員:10名)

③運用方法の見直し

- 緊急時などで急遽テレワーク対応せざるを得ない場合、特例として半日単位でテレワークできるように運用要綱を見直した。



テレワークの将来展望と方向性

① メリット

- ・働き方改革や採用活動の観点からも、テレワークは有効である。
- ・若い社員(特にこれから結婚、子育てを迎える社員)には重宝される勤務形態である。

② デメリット

- ・電子書籍を見ながらの作業では、どうしても効率が悪い。(会社で仕事をしたほうがいい。)
- ・年度末などの繁忙期は質問や報告がスムーズに行えることから、通常勤務が望ましい。



テレワークのやり方に明確な決まりは無い。いかに社員がやり易いようなテレワークを構築するかが重要である。

①スマホやzoomなどのコミュニケーションツールを活用したテレワークの試験的試行

②時間に捉われない(8:30~17:30以外)テレワークなど、より一層柔軟な運用ができれば、実施頻度も増えると思われる。

以上の観点からも、今後テレワークは必要と思われる。



■ご清聴ありがとうございました

打てば響くエコーのように、
社会に求められる仕事を
実現することが我々の使命です。
変わり続ける時代と、変わらないもの。
全てを見つめ、100年後まで残る仕事へ
共に取り組みませんか。



GRANDEE 鳴門
GOLF CLUB
グランディ鳴門 ゴルフクラブ36

創立50周年記念